

6月議会市政報告

第281回市議会定例会が6月16日に開会されました。浜田市長は各議案の提案理由の説明に先立ち、本年4月から国の権限を地方に移譲して「地方自治の本旨」の実現を促す地方分権整備法の施行や超高齢化社会に対応する介護保険制度が始まるなど、21世紀を目前にした西暦2000年は、自治体にとっても大きな節目の年であることを述べた後、主要な課題について報告いたしました（内容は、あらまします）。

財政状況

平成11年度一般会計決算見込みは、4億9千9百45万1千円の黒字となりますが、翌年度に繰り越すべき財源を控除しますと、実質収支は1億7千3百48万7千円で、前年度と比較すると、9千6百82万5千円の増額となります。このうち、財政調整基金に8千7百万円を積み立てると、翌年度繰越金は8千6百48万7千円となります。

平成12年度の一般会計の運営は、市民税の恒久減税が実施されるなど厳しい財政状況の中で、経常的経費の節減合理化を一層推進し、より効果的な運営に努めていきます。

契約事務の改善

6月1日から「工事完成保証人制度」を廃止し、「金銭的保証」を原則とした「新しい履行保証制度」に移行しました。請負代金が5百万円以上の建設工事について、請負代金の1割の金銭的保証を求めることとし、5百万円未満の建設工事は、保証を免除しています。

防災対策

従来の防災計画を見直した「南国市地域防災計画（一般対策編）」の作成を行い、「98集中豪雨災害」を教訓に、各部・班長の具体的な所掌事務と行動、ボランティアの受入

れ体制、災害弱者対策などを明確にし、新たに特殊災害対策として、航空機事故対策、油流出災害応急対策を加えました。特に庁内体制の整備は、災害時に最も重要となる初動態勢の確立など、十分な対応が取れるものと考えています。



国際交流

元高知大学留学生の橋渡しで、中華人民共和国吉林省汪清県から金東雲県長をはじめとする4名の方が4月17日から24日まで南国市を視察訪問し、市立スポーツセンターや市環境センターなどの行政関係施設、また高知カシオやセイレイ工業などの市内企業、その他、大学、観光施設などを視察見学しました。

「南国市地方分権・行財政改革総合調整会」を設置

地方分権・行財政改革の問題に対処するために、庁内の総合的な連絡調整を図ることを目的に「南国市地方分権・行財政改革総合調整会」を設置し、市政の基本となるべき「南国市基本条例50」の制定や、予算・決算との関係で適正な行財政執行を確立するための「事務事業評価表」の作成による報告義務など8つの重点課題を実施していきます。

市立スポーツセンター ―利用状況

平成11年度は、件数で1千1百7件、利用者数5万8千81人と順調なスタートとなっています。NHKのど自慢、全国高専バドミントン大会、婦人バレーボール全国大会、また、本年5月には、日本・韓国国際バドミントン大会が開催されるなど、全国的な大会のスポーツ施設として注目されるようになりました。

後免町再開発事業

3月31日に組合設立認可申請書が正式に、組合設立発起人代表西田秀美氏から知事に提出されました。認可を受けますと、国庫補助申請の手続きを経て、権利変換計画、実施設計の作業を進めます。

地域インターネット

導入促進事業

郵政省から補助金の交付決定を受けましたので、関係各部署との協議を行い、平成13年度中に、南国市内の公共施設（支所、保健福祉センター、小中学校、スポーツセンター、中央公民館など）のネットワーク化を図るとともに、防災情報システム、伝言版システムなどの開発を行います。



また、市内小中学校を無線LANで結び、全校生徒に電子メールアドレスを与え、学校、家庭、地域住民を結ぶインターネット網の構築を推進します。

一般廃棄物最終処分場建設（八京地区）

施設の実設計業務が3月末に完了しました。施設の建設は、4月に国庫補助内示通知がありましたので、平成14年4月の供用開始を目指し、本年度から2カ年事業として取り組んでいきます。



中山間地域直接支払事業

対象面積は、概算で85ha程度となっており、現在、各集落へ出向き事業の説明会を実施しています。前向きに受けとめていただける集落が多く、この制度を充実させる方向で進めたいと考えています。

「ニューセンチュリープラン」「ニューシティープラン」の推進

「ニューセンチュリープラン」は、各学校の授業改革を促進する事業です。新しい授業づくりに向けた意欲的、先進的な取り組みを行ってもらうため学校長裁量の予算を設け、校長自ら従来の枠にとられない思い切った発想を打ち出すことよって、教職員の改革への意欲を喚起し、学校に対する子ども達や保護者、地域のみなさんの関心と期待を高めてもらいたいと考えています。

「ニューシティープラン」は、南国市総合計画に描かれた基本的なイメージを、教育の場で実現するためのプランです。市町村教育改革総合支援事業による財政支援を受け、「翼交流事業」「小規模校開放事業」「食育推進事業」「生徒会ネットワーク事業」「子育て支援ネットワーク事業」など、これからのまちづくりに向けた新たな意図を持った事業を展開します。

介護保険事業

4月1日から介護保険制度が始まりました。要介護等高齢者のサービスが途切れないよう、4月1日・2日の閉庁日には、保健課内に職員を配置し、予測できない事態に備えましたが、大きな混乱もなく順調にスタートすることができたと考えています。また、県内では初めて、ボランティアの方々による介護保険の苦情や相談にあたる「南国市高齢者安心センター」が市社会福祉センター内に開設され、5月8日から活動を始めました。本市独自の住民サービスであり、その活動に期待をしています。



第12回2000

土佐のまほろば祭り

8月5日、吾岡山文化の森において開催することに決定しました。